



特定非営利活動法人 (NPO)

インド福祉村協会

会報
2003.4.1
Vol.8

India Welfare Village Society News

インド福祉村病院(現地名 アーナンダ病院) 開院5年目の節目を迎えました。

「更なる発展の年」 クシナガラ(北インド・UP州)

インド福祉村病院(現地名・アーナンダ病院)は節目の5年目を迎えました。2002年(平成14年)10月までの4年間で72,000名もの患者さんが来院し、インドの貧しい部落の人々に貢献、信頼されております。これも日本とインドの多くの人々に支援していただいたお陰と深く感謝しております。

4年目は紹介患者が多く、地域の中心の病院として発展しております。更なる発展のため、5年目は結核、マラリア、気管支喘息、トリコモナス症は無料で治療しております。妊婦検診、保健衛生指導も進展しております。

日本の皆様のご支援を
お願い致します。



(診察を待つ患者)



(入場門よりアーナンダ病院全景)

みんなの幸せを

理事長 山本孝之(福祉村病院院長)

今までの診療経験を通じて、インドの疾病構造や衛生状況の把握が進んできましたので、現地が最も必要とする医療を提供するよう努めるとともに、巡回診療や衛生教育も行っていました。本年度はマラリア、気管支喘息、トリコモナス症を無料診療しております。

これからもインドのみなさんの健康と幸せを守るために、全力を傾注してまいりますから、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



(エイズ予防の掲示版)

4周年のあゆみ

医師 P.N.クワタ

患者数の推移

日本の皆様のあたたかいご支援で5年目を迎えることが出来たことをたいへんうれしく思います。02年の夏ごろより患者が急激にふえて例年少なくなる冬場も1日平均70名の来院があり、多い日は100〜120名と職員は嬉しい悲鳴をあげ、懸命に努力しております。

日本のボランティア貯金による援助で、マラリアの治療は勿論、喘息患者の吸入療法(インドでは高額)、トリコモナス症の配偶者治療と生活指導(インドでは未実施が多い)、肺結核の治療と家族の生活指導はすべて無料で行っております。貧しい部落の患者達にはとても嬉しいことです。

生化学の諸検査、心電図、X・P撮影、エコー、スピロメター、小手術室、その他、(近辺の病院には無い)を大いに活用していることが部落の患者に信頼を得ている理由と感じております。5年目の今年も節目の年として頑張りたいと思います。



(グプタ医師の診察)

今後ともアーナンド病院へのご支援をお願い致します。

【風土病的疾病】

- | | |
|-----------|-----------|
| 1) フィラリア症 | 7) アメーバ赤痢 |
| 2) マラリア | 8) 甲状腺腫 |
| 3) チフス | 9) 狂犬病 |
| 4) ハンセン氏病 | 10) 蛇毒 |
| 5) カラアザール | 11) 象皮病 |
| 6) 日本脳炎 | |

【来院患者疾患名(上位)】

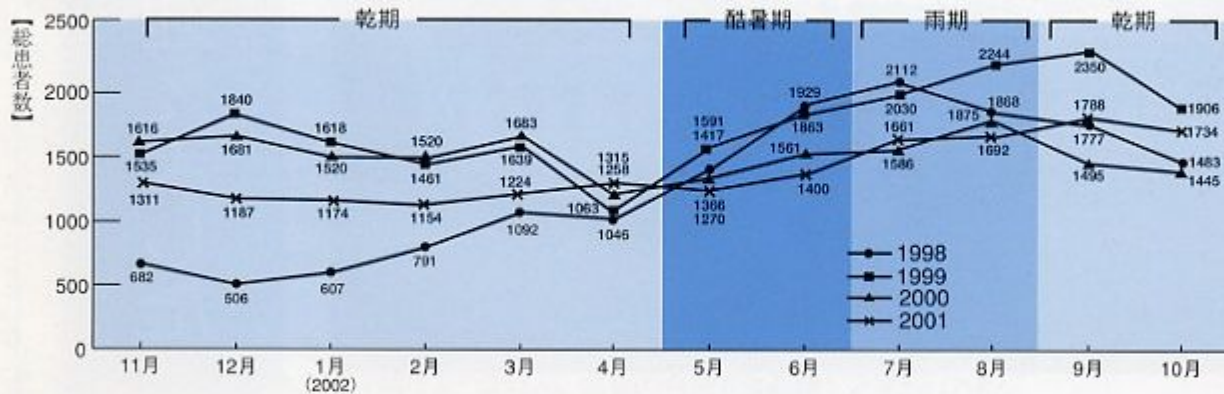
- | | |
|------------|------------|
| 1位 気管支喘息 | 7位 関節リュウマチ |
| 2位 胃潰瘍 | 8位 ウイルス感染症 |
| 3位 貧血 | 9位 筋肉痛 |
| 4位 トリコモナス症 | 10位 高血圧 |
| 5位 熱帯病 | 11位 肺結核 |
| 6位 気管支炎 | (山野井報告より) |



(喘息患者の吸入療法)

【患者数】

	1年目	2年目	3年目	4年目	総計
総患者	15,310名	21,140名	18,606名	16,910名	71,966名
新来患者	6,756名	7,946名	6,247名	5,593名	26,542名
再来患者	8,554名	13,194名	12,359名	11,317名	45,424名
男性 36% 女性 64% 小児 10%					



【南アジア】



【インド・クシナガラ周辺の主要都市】



(ヒラリア症の象皮病)

【現地住所】 ANANDA HOSPITAL TEL: 91-5564-272428/91-5564-272429
住所: VILLAGE SIRSIA DIST PADORONA 274403.UP.INDIA

インド福祉村病院の現況報告

常務理事 柴田昌雄(愛知学院大学前教授)

ボランティアアレポート

大阪外大 山野井純子

私は平成14年12月1日より3日間、平成15年3月9日より5日間現地インド福祉村病院を訪れ、医療活動をしてきました。3月は山口博先生(名大卒、血液学専門)も同行され内容の充実したものとなりました。日中の日差しはかなり強いものでしたが、日本の初夏を感じる快適な気候でした。

グプタ医師はじめ13名の職員と共に愉しく仕事が出来たことを喜んでおります。

相変わらず急性期あるいは重症の患者が少なからず来院しました。今朝倒れたと担ぎこまれた脳梗塞患者、ヒラリア原虫による象皮病の老人、空洞を有する新規結核患者、骨髄異形症候



(柴田医師の診察)

群が疑われる貧血患者、重症気管支喘息。これらの患者をグプタ医師は適切に診療を行っていたのが印象的でした。今回私が診察をして感じた点は、以前よりも二次医療を希望して来院する患者が増加していたことです。他の医師あるいは病院で治療を受けていたが回復せず来院したといったケースが多いのです。これはグプタ医師の臨床能力が極めて高いことを意味する様にも思いました。現在病院の雰囲気は明るく、職員も楽しく働いておりました。病院の敷地内には美しい草花が咲き乱れており、心が癒される感じもしました。今回私はこの病院をこの北インドの農村に建設したことは本当によかったといった実感を持ちました。今や地域の人々にとってこの病院はなくてはならない存在となりつつあると感じました。病院がここまで成長出来たのも有縁の方々力強い御支援の賜物であり、新たな感謝の念を感じている次第です。



(車椅子とオート力車)

2001年に半年間アーナンダ病院でボランティア生活を送り患者の村人へ生活調査をおこなった。

【家庭内問題】

- 1位 お金、2位 病気、
- 3位 住居、4位 土地畑、
- 5位 大家族の同居

【年齢】

自分の年齢をはっきり答えられる人すくない。

【職業】

女性は畑仕事と家事。外に出られない女性は上位カーストか子供が大きくなるまでダメ。男性は主に農業ですが、職が無い人も多い。インドの女性は本当によく働く人が多い。

【結婚】

婚姻法では女性18歳、男性19歳ですが早く第一結婚したものは2〜3年後第二結婚してから夫と同居する。一回だけの結婚式は20歳以上か都会が多い。花嫁の贈り物がとても多い。

【家族】

複合家族が多く、家族人数を答えるのに「苦労。大体の人数を答える人が多かった。

【子供】

男児を欲する傾向が強く、男児を生むまで出産を強い



(衛生教育と生活指導)



(紙芝居による衛生教育)

られる。教育費、生活費がかさむことより跡継ぎがほしいのであろうか。

【教育】

現在40歳以上の女性の多くは子供の頃学校に行っていない。最近では男女とも教育を受けさせてもらえようだが、家畜の世話や畑仕事のため途中でやめなくてはならない子供も多い。

【トイレ】

トイレが家にあるのはほんの少し、みんな畑で用を足す。女性は早朝暗いとき。

【電気】

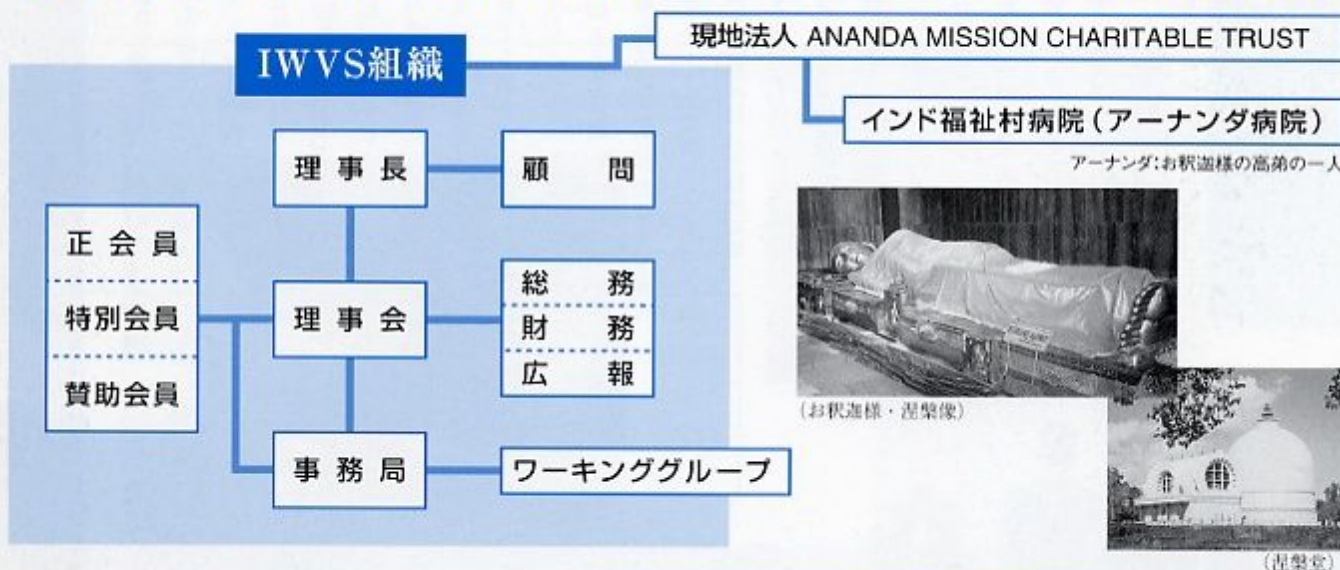
部落にはほとんど電気はこない、1日4〜5時間位、村人には使用しない人もいる。電気がきていない低所得部落もある。

特定非営利活動法人 (NPO)

インド福祉村協会 (IWVS)

特定非営利活動法人 インド福祉村協会は、民族、宗教を超えて日本とインドの両国民が共通の価値観を共有し、互いに学び合うことを理念として、インド国の医療に恵まれない人々に対して、プライマリ・ヘルスケアを中心とする診療活動と保健衛生活動及び不就学児童らに対する教育活動を行うことによって、インド国の医療の充実及び幼児教育の充実を図り、もって両国の友好に寄与することを目的としています。診療活動としてクシナガラにてインド福祉村病院（アーナンダ病院）を開設、運営を行っています。

ホームページ <http://www1.ocn.ne.jp/~gassho/>



入会のお願い

正会員：年会費 5,000円

総会の議決権があります。協会の会報を毎回お届けします。プロジェクトの進み具合、現地の情報を逐次お知らせします。現地宿泊の便宜を図ります。

特別会員：年会費 100,000円（一口以上）

総会の議決権はありませんが、代表一名を正会員として登録します。その他正会員と同様。

賛助会員：年会費 1,000円（一口以上）

総会の議決権はありません。協会の会報をお届けします。

【会費・寄附の支払い方法】

1. **郵便振替** 郵便振替用紙を利用し、最寄りの郵便局より手続きを行う。

ご一報いただければ用紙をお送り致します。

郵便振込（口座番号）00830-2-65008（加入者名）インド福祉村協会

募金のお願い！

少しでもあなたの善意を分けて下さい。

インド福祉村協会 (INDIA WELFARE VILLAGE SOCIETY)

理事長／山本孝之（福祉村病院院長） 顧問／飯島宗一（元名古屋大学学長）

常務理事／柴田昌雄（愛知学院大前教授） 理事／高木元昊（慈専寺住職）

事務局長／村田 智

ほか

■発行者 インド福祉村協会 (IWVS)

■発行人 大竹紘一 ■編集協力 文創社

■インド福祉村協会事務局

〒441-8124 愛知県豊橋市野依町山中19-12

TEL:0532-48-1138 FAX:0532-48-2365